

瑞岩寺報

2015.01.01
(平成27年 睦月)

【正月号】

お正月総合案内

お正月ご祈禱法要

お正月は毎日、天地が招福除災を祈念する大般若ご祈禱を勤行します。お正月は前年の悪を反省し、新たな年の誓いを立てる、年初めにふさわしい行事です。

ご祈禱は左記の通り行われます。厄年厄除・病氣平癒・交通安全・良縁成就・開運厄除・家内安全・無事成就・商売繁盛・学業成就・試験合格などのご祈禱のお申し込みは同封の申込書をお寺まで持参されるか、ファックス(37-5535)してください。

【期 日】 1月元旦(木)

1月2日(金)

1月3日(土)

【時 間】

午前9時・10時・11時
午後1時・2時・3時頃の6回
◎ご祈禱可能です。

【ご祈禱料】

- ご祈禱紙札(小) 3,000円
- ご祈禱木札(中) 5,000円
- ご祈禱木札(大) 10,000円
- ご祈禱木札(特大) 20,000円

【お願い】

- 一、お願い毎は二つまでにしてください。
- 一、ご祈禱札にはお守りがつきます。
- 一、法要後、ご祈禱札をお持ちください。
- 一、法要にはなるべく本人がご参加ください。
- 一、希望の方には郵送しますので申し込み書にお書き下さい。

年始参詣

【期 日】 1月元旦〜3日

【時 間】 午前7時頃〜午後5時まで
※本堂にて新年の挨拶をされた方に、瑞岩寺の新年祈禱札と平成27年度本山カレンダーをさしあげます。是非、皆様お揃いで気軽にお出かけ下さい。



お墓そうじ 瑞岩寺にお墓のある方へのご案内です

【期 日】 12月28日(日)

【時 間】 午前7時から

お正月が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。この暮のうちに仏壇をきれいにして鏡餅を供え、お花を飾り準備を整え、元旦早朝、若水を汲み供え、一家そろって仏壇に手を合わせ、よき新年をお迎えになることは、私たちの善行の始まりだと思います。さらに、お寺に参拝してご先祖様に感謝の誓いを祈ることこそ意義深い初詣になると思います。一斉お墓掃除を右記のごとく行います。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。

厄年早見表

◇からだの変わり目◇

| | 後 厄 | 本 厄 | 前 厄 |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 男の大厄 | 42歳 昭和48年 | 49年 昭和49年 | 50年 昭和50年 |
| 女の小厄 | 37歳 昭和53年 | 54年 昭和54年 | 55年 昭和55年 |
| 女の大厄 | 33歳 昭和57年 | 58年 昭和58年 | 59年 昭和59年 |
| 男25歳の厄年 | 平成2年 | 3年 平成3年 | 4年 平成4年 |
| 女19歳の厄年 | 平成8年 | 9年 平成9年 | 10年 平成10年 |
| 幼児4歳の厄年 | 平成23年 | 24年 平成24年 | 25年 平成25年 |
| 男女61歳の厄年 | 昭和28年 | 29年 昭和29年 | 30年 昭和30年 |
| 13歳詣り | 男女 平成15年 | | |

Attention!

以下の点に留意ください。

- ◆強制ではありません。また、上記以外の日や時間も受け付けております。
- ◆自分のお墓の掃除が終わったら、通路など共有の場所のお掃除も積極的にお願います。
- ◆遠方の方はお寺でやっておきますのでご安心ください。
- ◆飲み物はお寺で用意してあります。
- ◆お祈禱法要について
お祈禱札について、申込書を持参、またはファックスしてください。
- ◆ご祈禱料の振込用紙を同封します。市内・県内外の方は同封の振込用紙をお使いください。
- ◆ホームページからダウンロードできます。

姜

闇が深ければ光も明るく感じますよね。今の世の中は光と闇が曖昧になっていて、その中でなにやら死んだように生きているというかね、「これが生きていくということだ」という感覚もなく、ただなんとなく1年が過ぎていくようなイメージが若者の中に一部あると思います。

住職

先生は、そういう若者に対してこれからどのように指導しようと考えておられるのですか？

姜

今の若者は、出会いが希薄になっていると感じています。何かに出会い、「あ、そうか。そういうことだったのか」と自分の体の中から出てくるような体験が、残念ながらあまりないのです。

住職

世の中にこれだけ多くの出会いのツールがあるにもかかわらずですか？

姜

確かに出会いの可能性は無限にあるように思えるのですが、実際に出会いというのはほとんどありません。それはなぜかと考えると、やはり情報が進みすぎて、彼らは「未知数がなくなつた」と思ってしまったからなんです。

住職

先人がみなやってしまつて、自分たちのできることはない？

姜

たとえば、情報端末にキーワードを入れて検索すれば、ほとんどの情報は出てきますよね。それで彼らは、すべてが既知数になつたように「錯覚」してしまつて、新鮮な感動ができなくなっているのです。

住職

体験する前から感動がなくなつてしまつているんですね。

姜

私たちの時代は、やっぱり未知数が多かつたですよ。自分たちの知っていることなど、たいしたことはないんじゃないかと思つていました。だから、たとえ死にたいという思いがあつたと湧いても、もしかしたらもつと未知なものとの遭遇できるという気持ちがあるのとどまらせたんです。そして、それは自分の知らない自分との出会いでもあつたと思います。

ところが、今の若者はいろいろな情報を感じ取れるには取り込めるのですが、実際に生身の人間との出会いがどうかと聞くと、非常に希薄なんです。私としては、人との出会いを大学で学んで欲しいと思つています。

本を読むこともそうだと思うんで

住職

私はずでに亡くなっている夏目漱石という人と本で出会っているわけですから。ここはキリスト教系の大学ですから聖書でもいいし、なんなら般若心経でもいいんです。1冊の本との出会いを、また、人との出会いをしてほしい。出会うということが生きることだと思ひますし、それを学生にも伝えていきます。彼らに未知なるものとの出会いに臆病になつてほしくないんです。そうすることで、自分が生きるに値するという感覚を持つていてほしいと思つています。

住職

なるほど。曹洞宗では師匠というものを探し歩くのですが、先生のおっしゃる人との出会いに似ているかもしれません。修行僧のことを「雲水」と呼ぶのですが、流れる雲の如く、水の如くという意味なんです

考えています。

夏目漱石は、熊本の高校で英語を教
えていたんですね。彼も教育者として
いろいろ悩んだと思うのですが、私が
彼から一つ学んだことは、血縁やいろ
いろな縁を超えて、古い世代から新し
い世代に、ある種の魂の相続みたい
ものがなされているんですね。それを
彼は小説として書いています。

私もこうして下手な小説を書いたと
きに、私という人間ともうひとりの
主人公とで、世代を超えて何かを伝
えられるといえますか、それが広い意
味での教育になるのではないかと思っ
ています。これは、「伝える」という
相続ですよ。

私たち凡人は、どうしても血縁関係
があるから親子、血縁というところに
特別の価値を置いてしまいがちです
が、実は、なんの血縁関係や利害関係
もなくとも、人の縁ができあがりま
す。そこで何を伝えていくか、何を相
続していくかを考えますね。ちなみ
に、漱石が教えていた高校は、私の母
校でもあります。そんな縁もなにか影
響しているかもしれませんね。

住職

仏教では、「諸法無我」。すべてが
繋がっていると考えます。人と人、人
とものとの縁は、血縁や利害関係だけ
でないというのは、とてもよく理解で
きますね。

姜

そして、今は私が伝えますが、それ
を受け取ってくれる学生がいれば、そ
の学生はまた次に伝えていくだろう
と。そうすると、1人の人間の寿命が
終わっても、伝えて受け取り、受け取
り伝えていくことで、「命」というの
は大河のように続いていくんじゃない
かと思うんです。その流れの一つに今
の私はいるんですよ。流れはいつか流
域の中に消えていくけれど、その先も
また流れていくという感じですね。自
分をそういう存在なんだと見ていく
と、最近はとても気持ちに張りが出て
きました。「これでやろう」というふ
うに。学生や教員たちからも、「最
近、先生ちよつと力強くなつたんじや
ないですか」なんて言われています。

住職

そうですね。それはいいですね。

姜

やっぱり伝えるところに私の使命が
あるかなと。今日、長谷川さんとう
して話していることもその一つなんだ
と思います。

住職

伝えるという使命ですか。私もそう
いう気持ちでこの仕事をしていると思
っているんです。実は、私ごとですが
数年前に離婚を経験しまして、今、子
どもと一緒に住んでいないんです。そ
のときは死にたいくらい辛かったん
ですよ。でも、いま考えると、あの経

験があつたからこそ、今の僕があるな
と。人生の中で大切な経験をさせても
らつたと思っています。乗り越えるこ
とが非常に大変でしたけれども、やは
り大切に生きようという気持ちが強く
なつたと思います。私は息子と暮らせ
なくなつただけで、これほど辛かつた
のですから、息子さんを亡くされた先
生の辛さはどれほどのものだったろう
かと思います。

姜

本当に、世の中で何が一番の不幸か
というと、子に先立たれる親ほど辛い
ものはないですよ。ですから、長谷川
さんがお子さんと一緒にいられないと
いう辛さもよくわかります。ただ、だ
からこそ、いつか息子のところに行く
までは、自分に残されたものを生き抜
こうというか、それが大きな「命」の
流れに通じていっていると思うん
です。

息子のことも、私が『心』という小
説を書いたことで、たとえ虚構であつ
ても、彼は人々の中に生きていくと思
うんですね。以前のサイン会で、85歳
のおばあちゃん、43歳のお母さん、小
学校6年生のお子さん一緒にみえて、
お子さんに「こんな難しい本を読む
の？」と聞いたたら、「ええ、時々辞書
を引きながら読みました」と言ってく
れたんです。そうか、もし明日私が死
んだとしても、この3人は憶えていて
くれる。きっと次の世代にこの話を伝
えてくれるだろうと思えました。人は

ある限られた人生しか生きられない
し、個体としてはそこで終わりだけ
ど、命は受け継がれていく。そういう
実感を持つたんです。

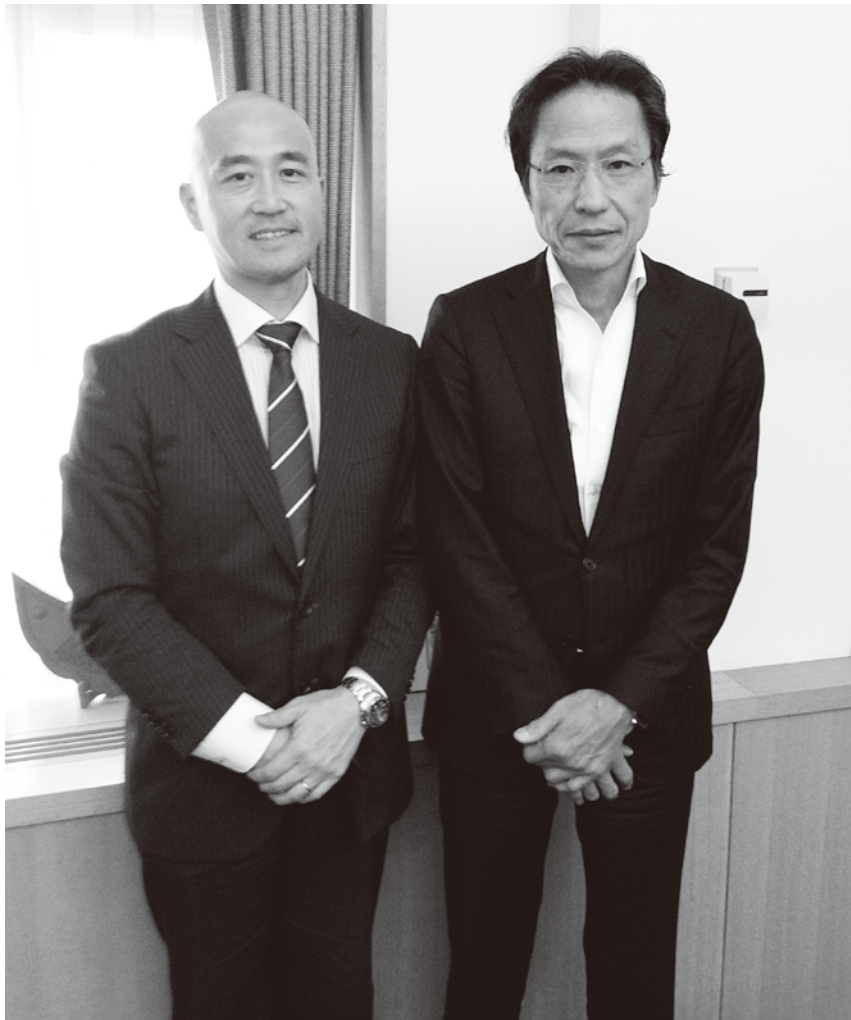
ですから長谷川さんがポッドキャス
トの番組を作られたり、寺報を出され
たり、いろいろされるということは、
やはり相続を確実にしていくというこ
とでしょうね。時代も社会も、根本的
にはそれほど変わらないでしょうが、
思いを持った人はいる。そういう人た
ちに伝えていくしかないだろうと感じ
ながら、日々生活をしています。

住職

そうですね。私たち曹洞宗では使
いませんが、臨済宗の公案（禪問答の問
題）に「父母未生前の本来の面目如
何（お父さんお母さんが生まれる以前
のお前はどこにいたのだ）」というも
のがあつて、とても面白いと思つたん
です。公案ですから答えは一つではな
いでしょうが、私はやはり「命」の流
れのどこかにあるんだろう、目には見
えないけれどもどこかあつて、それ
が答えではないかという気がしていま
す。

姜

その通りです、漱石は円覚寺でその
公案を問われて答えられなかったんで
す。彼が26歳の時ですね。彼は神経症
でしたし、答えられなかった。でも、
彼の『門』という小説の中で、主人公
がその公案を問われて門から出てくる



場面があるんですが、この小説を書いたときには分かっていたと思います。「命」だと思えます。そして、「父母未生以前の……」という公案を彼なりに小説化しているんですね。

住職

すばらしいですね。

姜

私も、それは「命」という回答を今は得ています。「命」です。私は「命」を尊ばない宗教は宗教ではないと思っっているんです。もちろん、考え

方によってそれをどう説明し、どこを目指すかの違いはありますけれども。本当に、最近そう思うようになりまして。

住職

そうですね。宗教の「宗」という字は、大切なものという意味らしいですから、「命」と通ずるものがあると思います。

最後に、3月7日の寺子屋講演会で、先生に『心の力』という題でご講演いただいたのですが、参加される皆さま

んにひと言いただけませんか？

姜

そうですね。「心の時代」ということでしょいか。

つい最近まで、脳科学などに関するものが皆さんにとっても受け入れられていたと思うんですね。「脳がわかれば全てがわかる」というような感じ。もちろん脳科学は立派な一つの科学だと思っんですが、東日本大震災以降は、急速に露出が減って来たように思っいませんか？

住職

そうですね。最近あまり見ないかもしれません。

姜

それは皆さんの関心が脳から心に移っっているのだと思っます。目に見えないものといっても、単にスピリチュアルなお話といっことではないですよ。それは、「可視化されたものだけに価値がある」のではなくて、「目に見えないものに人が少しずつ価値を見出さうとしてきている」といっこと。私はそこに望みを託しているんです。そういっ意味で今は「心の時代」だと思っますし、講演では「心の力」といっことを皆さんにお伝えしたいと思っます。

住職

ありがとうございます。3月のご講演が今から楽しみです。

プロフィール

姜尚中(カン・サンジュン)

1950年、熊本県熊本市に生まれる。国際基督教大学准教授、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授などを経て、現在聖学院大学学長、東京大学名誉教授。専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。主な著書に『マックス・ウェーバーと近代』、『オリエンタリズムの彼方へ』、『ナショナルリズム』、『東北アジア共同の家をめざして』、『増補版 日朝関係の克服』、『在日』、『姜尚中の政治学入門』、『ニッポン・サバイバル』、『愛国の作法』、『悩む力』、『リーダーは半歩前を歩け』、『あなたは誰？私はここにいっ』など。共著に『グローバル化の遠近法』、『ナショナルリズムの克服』、『デモクラシーの冒険』、『戦争の世紀を超えて』、『大日本・満州帝国の遺産』など。編著に『在日二世の記憶』など。小説『母・オモニー』、『心』を刊行。最新刊『心の力』。

お礼の言葉



瑞岩寺26世大光昭雄大和尚の葬儀ならびに告別式に際しまして、ご縁の深い多くの檀信徒みなさまにお見送りいただきましたことを衷心より感謝申し上げます。

私どもにとりましては、かけがえのない先代住職を失いまして、今なお夢を見ていような気がしております。あの飄々としながらも笑顔を絶やさないご尊顔を再び拝することができないかと思うと淋しさが募って参ります。

思えば、昭雄大和尚は瑞岩寺の興隆と宗門の発展、毛里田保育園の発展、また社会への奉仕に尽くされた方でした。

お寺にあっては、山門の改修、本堂屋根の吹き替え、庫裏の建築など境内が見違えるようになりました。そして、檀信徒教化のために心血を注いでこられました。

また、群馬県の保育園のトップとして群馬県保育協議会の会長や、晩年には瑞宝単光賞を受賞され、子どもたちや社会のために貢献して参りました。

このご葬儀にご会葬いただいた皆様は、このご縁につながる皆様であろうかと存じます。どうか、昭雄大和尚様のお心を受け止めていただき、それぞれの立場でのちの継承をしていただければ、これに勝る供養はないと思えます。

昭雄大和尚さまの生前のご交誼ご厚情に對しまして、深甚（しんじん）なる感謝を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご法愛を賜りますようお願い申し上げます。ご無礼ながら御礼の言葉とさせていただきます。

瑞岩寺総代 葬儀委員長 青木恒一
瑞岩寺住職 長谷川俊道

お知らせ

◆ podcast

「こまつたときの聴き込み寺」
(毎週金曜日好評配信中！)



最近、いつコンピニに立ち寄りましたか？唐突な質問で困惑させてしまいましたね。普段の生活において、気軽にフラットと、もしくは何か足りない時に近くのコンピニに立ち寄るのはよくある日常です。でも、こまつた時、何か心に引つ掛かる悩みが生まれた時、あなたはどのようにしていますか？当番組は、群馬県・太田市にある瑞岩寺の住職・HASEさんの、実はコンピニの倍近くの数が存在するお寺に、何かあればフラットと立ち寄ってほしいをテーマに生まれました。「職場の上司と反りが合わず仕事が苦痛です」「子どもの好き嫌いが多くて困っています」「ミュージシャンへの夢を捨てきれず悩んでいます」「明日は初デート！どうしようー！」etc. 人には言えない悩みも、日常のささいな疑問もHASEさんにお話してみたい。何かと忙しく、悩み多い日々。お耳をお貸し下されば、少し疲れたそんな心をHASEさんがチクリとホンワカ癒やします。

【HASEへの質問・お悩み相談は】
kikikomi@zuiganji.com

ペンネーム、年齢、性別ともにお寄せ下さい！

・ iTunesでお聴きになる方には、

↓ <https://itunes.apple.com/jp/podcast/komatta-shino-tingikomi-si/id624486999?mt=2>

・ PCで直接聴取される方は、

↓ <http://podcast5.kitag.jp/kikikomi/>

すべての人に佛さまの智慧と慈悲を

宗教法人 慈眼山 瑞岩寺

群馬県太田市矢田堀町388

TEL:0276-37-1231/FAX:0276-37-5535

E-mail:info@zuiganji.com

Website:http://www.zuiganji.com

ブログ <http://ameblo.jp/zuiganji/>

- ◇御意見、御要望はいつでもお知らせ下さい。
- ◇お身体をお大切に、お健やかに暮らしてくださいませ。
- ◆み仏さまの御加護を心からお祈りいたします。 合掌